2025年度 シラバス＆レッスンプラン

科目	講師	提出
READING Ⅰ	ボンド 千保	25年 1 月 21 日

学科	学年		
選択科目	2年	前期	○
		後期	

授業の方法	講義
講義時限数	15
単位数	2

＜講義目的＞ この教科を学び、どのような力・知識が身に付くのか。

英語で国内外のトレンドに触れ、頭の中に「英文読解の回路」をつくる

＜講義概要＞

1.講義内容は基本アウトプット70%インプット30%
2.15回の中で(エンタメ/スポーツ/時事問題など)様々な英文トピックを、男女2種類の音声にて2倍速と通常速度で聴き取った後、1センテンスごとに丁寧に声に出しスラッシュリーディングにて読込む 60分

＜授業の進め方＞

☑ 講義 ☐グループワーク ☑実技・演習 ☐フィールドワーク ☐実習
☐ その他( )

＜授業計画全体における講義・演習・実習の割合＞

講義 10 % 演習 90 % 実習 %

＜到達目標レベル(何を、どのレベルに)＞

1.抵抗なく300字程度の英文を読むことが楽しくなり、各英文トピックの内容を理解し簡単に説明できるレベル
2.単語暗記テストを授業前後に実施することにより、毎回の授業終了時までに確実な語彙力アップを実感(毎回20単語x15回)
3.英語トピック暗記と理解度テスト、音読実践により英語で話すことへの自信と自己表現力が高まり、英文の背後にある文化やニュアンスを理解しやすくなる
4.頭の中に「英文読解の回路」ができる

＜レッスンプラン(時限ごとの項目スケジュール概要)＞

回	授業計画	テキスト・使用資料その他	学生PC利用
1	授業前後単語暗記テスト、英文の意味を和文で確認、トピック音声で聴き取った後、センテンスごとに丁寧に声に出しスラッシュリーディングにて読込む	テキスト	☐
2	授業前後単語暗記テスト、英文の意味を和文で確認、トピック音声で聴き取った後、センテンスごとに丁寧に声に出しスラッシュリーディングにて読込む	テキスト	☐
3	授業前後単語暗記テスト、英文の意味を和文で確認、トピック音声で聴き取った後、センテンスごとに丁寧に声に出しスラッシュリーディングにて読込む、全員発表+理解度確認小クイズ	テキスト	☐
4	授業前後単語暗記テスト、英文の意味を和文で確認、トピック音声で聴き取った後、センテンスごとに丁寧に声に出しスラッシュリーディングにて読込む	テキスト	☐
5	授業前後単語暗記テスト、英文の意味を和文で確認、トピック音声で聴き取った後、センテンスごとに丁寧に声に出しスラッシュリーディングにて読込む	テキスト	☐
6	授業前後単語暗記テスト、英文の意味を和文で確認、トピック音声で聴き取った後、センテンスごとに丁寧に声に出しスラッシュリーディングにて読込む、全員発表+理解度確認小クイズ	テキスト	☐
7	授業前後単語暗記テスト、英文の意味を和文で確認、トピック音声で聴き取った後、センテンスごとに丁寧に声に出しスラッシュリーディングにて読込む	テキスト	☐
8	授業前後単語暗記テスト、英文の意味を和文で確認、トピック音声で聴き取った後、センテンスごとに丁寧に声に出しスラッシュリーディングにて読込む	テキスト	☐
9	授業前後単語暗記テスト、英文の意味を和文で確認、トピック音声で聴き取った後、センテンスごとに丁寧に声に出しスラッシュリーディングにて読込む、全員発表+理解度確認小クイズ	テキスト	☐
10	授業前後単語暗記テスト、英文の意味を和文で確認、トピック音声で聴き取った後、センテンスごとに丁寧に声に出しスラッシュリーディングにて読込む	テキスト	☐
11	授業前後単語暗記テスト、英文の意味を和文で確認、トピック音声で聴き取った後、センテンスごとに丁寧に声に出しスラッシュリーディングにて読込む	テキスト	☐
12	授業前後単語暗記テスト、英文の意味を和文で確認、トピック音声で聴き取った後、センテンスごとに丁寧に声に出しスラッシュリーディングにて読込む、全員発表+理解度確認小クイズ	テキスト	☐
13	授業前後単語暗記テスト、英文の意味を和文で確認、トピック音声で聴き取った後、センテンスごとに丁寧に声に出しスラッシュリーディングにて読込む	テキスト	☐
14	各自が選んだトピックについて全員発表		☐
15	＊期末試験		☐

＜授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)＞

各学生の意欲による、毎回授業内で実力・習熟度チェックテストそれぞれ1回ずつ実施、基本的に授業内完結学習

＜成績評価方法・基準＞

試験と評価方法		評価方法				
☑ 試験期間中		☑ 筆記試験(40%)	☑ 小テスト(40 %)	☐ レポート(%)	☐ その他(%)	
☐ 講義時限内		☐ 実技試験(%)	☑ 受講態度(20 %)	☐ 作品(%)	↳ ( )	

＜教員紹介＞

英国留学、長期滞在経験にて培った英語力と、航空会社での接客実務及びJTBGMTでのインバウンド実務経験を活かし、アウトプット中心の講義でツーリズム業界で活かせる即戦力を身につけることを目指します。